



花だより

鳥だより

ポロト案内舎 2017年 7月 67号



暑い夏が一週間続きました。少ない雨も手伝って、大きなフキの葉が下を向いてしまうほどでした。しかし、暑さは続きません。海からの霧が大地を冷やし、何も見えなくしてしまいます。それでも、暑さのおかげでしょうか？ヘイケボタルが例年よりたくさん現れ、案内舎の庭を飛び回っています。



## すくすく育っています

ポロト沼のタンチョウのヒナたちは、見違えるほど大きくなりました。もう上空をオジロワシが通過しても、親鳥は警戒の声をあげません。頭を上げることすらしません。ワシは子どもたちの敵から除外されたようです。

引き潮で沼の水位が下がると食事の時間です。ヒナは自分たちで食べ物を捕まえることができません。親が与えてくれるのを待っています。食べ物を巡って争うことはありません。いたってのんびりと、親のそばで待っています。親は大変です。ヒナの視線を浴びながら、魚を次々につかまえては、ヒナに与えています。ポロト沼は海とつながっているので、魚が豊富です。旺盛なヒナたち

の食欲を十分に満たしてくれま

す。ヒナたちがお腹いっぱいになると、今度は親鳥が急いで食事を済ませます。子どもも親も満足すると、岸に上がって休憩です。7月下旬になってから、休憩時に、親がヒナたちの周りを飛び回るようになりました。ヒナの体は茶色から白へ変身し





つつあります。翼の羽が伸びてきている証拠です。親が飛んで見せると、ヒナが羽ばたき始めることもあります。

タンチョウは生まれてからおよそ100日で飛べるようになると言われていています。8月中旬ごろがその時期に当たります。これからは食べて休むだけでなく、飛ぶ練習も見られるよ

うになるでしょう。ヒナたちには体の大きさに違いがあり、大きい方が早く飛ぶようになります。ヒナが飛べるようになると、行動範囲が一挙に広がります。



## 同じ場所とは思えません



7月は霧多布湿原の花が見事でした。ワタスゲの白い穂波が過ぎ去ると、エゾカンゾウのオレンジが湿原を鮮やかに染めあげました。それも2週間ほどの短い間。今度はノハナショウブの赤紫が絨毯のように広がっていきました。しかし、7月下旬には勢いを失くし、ひっそ

りと姿を消しつつあります。そして登場してきたのがタチギボウシの淡いピンク。枯れいくノハナ



ショウブのそばから、みずみずしい花をいくつも咲かせています。そして、その足元には、次に咲くサワギキョウが大きく育っています。



霧多布湿原の花の移ろいを見ていると、「盛者必衰」の言葉が浮かんでできます。美しく咲き誇っている花たちは、いずれ枯れますが、しっかり子孫を残しています。また来年、同じように花の季節が訪れるのですね。変わりつつ変わらない。変わらないけれど変わっていく。霧多布は花の湿原です。



## モズのはやにえ



案内舎の敷地にリンゴの木を植えています。苗木を支えるため、ハンノキの枝を切り、添え木にしています。この添え木の先端は鋭くとがっています。そこに、赤茶色の物体が刺さっていました。毛皮の様子からヤチネズミと思われる。すぐに思いついたのがモズ。モズはカエルやバツタなどの獲物を、植物の棘や有刺鉄線に突き刺しておく習性があるからです。これがモズの「はやにえ」と呼ばれるものです。ここ

数年、ポロトから姿を消していたモズですが、今年は声を聞いたり、姿を見かけるようになりました。モズは百舌鳥と漢字で書くように、いろいろな鳥の声を真似ることができます。器用さは鳴きまねだけでなく、食物を貯蔵？ することにも発揮されているようです。それにしてもそれほど大きくないモズが、どうやってヤチネズミを捕まえ、調理し、杭の先に突き刺したのでしょうか。一部始終を見たかった。



## 季節外れの訪問者 ミサゴ



春と秋にポロト沼に現れるミサゴ。どういうわけか、7月に姿を見せました。沼が見渡せる電柱のてっぺんにとまって動きません。すぐにはなくなると思っていたら、10日ほど居続けました。

ミサゴの主食は魚。春と秋に見かける姿は、沼の上空で羽ばたき、狙いを定めて急降下するもの。4～5回に1回の割合で魚を捕えています。しかし、夏に現れたミサ

ゴは電柱専門。たまに魚めがけて急降下を見せますが、長い時間飛んでいることはありません。ポロト沼はオジロワシのなわばりなので、見つからないようにしているのでしょうか？ちゃんと食べているのか心配でしたが、ときおり電柱の上で魚を食べる様子も観察できました。

このミサゴ、繁殖せずに1羽で流れ歩いている若鳥だったのかもしれませんが、今もどこかの水辺で魚を狙っていることでしょう。



## 天空の島かギアナ高地か



空中に浮かんでいるように見える島。はたまた霧に浮かぶ南米のギアナ高地。そんな景色が夏真っ盛りのこの時期、霧多布岬に出現します。いつ見えるかは気まぐれで、運次第。霧が海面付近に厚くたれこめ、しかも上空にない時に霧の演出で幻想的な絶景が現れます。その表情は刻々と変化します。